

# 大江町内の指定文化財関連年表

約8000年前頃	ヤマガタダイカイギウが生息する。
約10000年前頃	最上川が形づくられる。
約4000年前頃	【縄文時代】橋上に集落が存在する。 【橋上遺跡】
約1500年前頃	小新の神代カヤが誕生する。 【県指定 神代カヤ】
6500年前頃	矢引沢の大スギが誕生する。 【町指定 矢引沢の大スギ】
9世紀中頃	松保の大スギが誕生する。 【県指定 松保の大スギ】
12世紀頃	【平安時代】藤田で須恵器が焼かれる。 【藤田の窯跡】
1189年	伏熊護真寺の阿弥陀如来座像が造られる。 【真指定 阿弥陀如来坐像】
鎌倉・室町時代頃	【文治5年】大江町を含む寒河江荘を大江氏が治める(大江元が地頭となる)。 【町指定 板碑2基】
1346・70年頃	貫見の板碑が建てられたと考えられる。 【国指定 左沢橋山城跡】
1368年	【正平年間】左沢橋山城が大江氏の一族左沢元時によって築かれたといわれる。 【国指定 左沢橋山城跡】
1584年	【天正12年】最上義光が大江氏を滅ぼす。 左沢橋山城は最上氏の支配下に入る。
1622年	【元和8年】最上氏が改易。左沢橋山城は廃される。
1631年	【寛永8年】酒井直次没。巨海院が菩提寺となる。 【町指定 左沢城主酒井直次の墓】
1648年	【慶安元年】小漆川城の大手門を巨海院山門として移築したとされる。 【町指定 巨海院山門】
1716・36年	【享保年間】旧齋藤半助家土蔵が造られたとされる。 【町指定 町立歴史民俗資料館(土蔵)】
1755年	【宝暦5年】このころに中の畑雷神社に奉納された御戸帳が残る。 【町指定 御戸帳59点 宝暦・明治】
1823年	【文政6年】旧齋藤半助家住宅が造られる。 【町指定 町立歴史民俗資料館(母屋)】
1959年	【昭和34年】漆川村(旧七軒村)と旧本郷村と左沢町が合併して大江町が誕生する。



## 大江町内の文化財

名称	種別区分	所在地	指定年月日
左沢橋山城跡	史跡	左沢字橋山地区内ほか H22.2.22(追加指定)	H21.2.12

名称	種別区分	所在地	指定年月日
最上川の流通・往来及び左沢町場の景観	重要文化的景観	左沢・本郷の一部 最上川・月布川市の沢川の一部	H25.3.27

名称	種別区分	所在地	指定年月日
神代カヤ	天然記念物	小新22	S27.4.1
松保の大スギ	天然記念物	小清547乙	S28.8.31
阿弥陀如来坐像	彫刻	三郷丙387	H22.4.30

名称	種別区分	所在地	指定年月日
板碑 2基	史跡	貫見661-1	S53.1.17
大江町立歴史民俗資料館	建造物	本郷丁373-1	S54.8.30
御戸帳 59点	工芸品	本郷丁373-1(中央公民館保管) H23.12.20(追加指定)	S60.3.23
左沢城主酒井直次の墓	史跡	本郷己525	H元.3.8
左沢城主酒井直次夫人の墓	史跡	本郷己525	H元.3.8
巨海院山門	建造物	本郷己7	H元.3.8
矢引沢の大スギ	天然記念物	柳川1063	H3.9.20

### ① 最上川の流通・往来及び左沢町場の景観(国選定)

大江町左沢は、水路と陸路が集中し、近世に発展した最上川舟運により人や物の行き来が盛んにおこなわれ栄えました。また、左沢では、本郷・七軒地区の農山村で産出した青苧等の換金作物が取引され、町場と農山村の互恵関係が多く富をもたらしました。



風情ある原町通りの街並み

左沢には、今も近世城下町を起源とする寺社の配置や、内町・横町、御免町、原町などの短冊地割が受け継がれ、商店や土蔵が分布する町並みには、舟運文化の名残がみられます。さらに、最上川舟運の舟乗りたちの信仰を集めた波切不動や交通の変化を物語る旧最上橋、中世の山城が景勝地に転じた楯山公園などが点在します。

また、近世には、最上川舟運や農山村との流通・往来がもたらした繁栄を背景に、町衆による華やかな囃子屋台やシシ踊りがおこなわれました。これらは、現在の秋まつりとして、今に伝えられています。

先人たちの暮らしや風土に根ざして形づくられてきた生活文化。これらを今でも目にすることができる景観は、平成25年3月27日に、県内初の重要文化的景観となる「最上川の流通・往来及び左沢町場の景観」として国の選定を受けました。

## 町内の資料等展示施設

### 大江町立歴史民俗資料館(町指定文化財)

大江町の十郎畑にあった旧齋藤半助家住宅と土蔵を移築した建物です。母屋は文政6年(1823)の建築で、名主の風格がしのばれる養蚕農家の住宅です。蔵は当地方の特産であった青苧の蔵として享保期(1716~1736)に建てられたと考えられています。

開館時間/9時~17時  
休館日/第2・4月曜日  
所在地/本郷丁373-1  
問合わせ/0237-62-3666  
(大江町中央公民館)  
入館料/大人100円・学生50円・小人30円  
団体割引、各種体験事業や催しがございます。詳しくはお問い合わせください。

### 郷土資料展示室(小倉交流館)

大江町で使われた民具類や織機、青苧についての資料があります。また、交流館近隣の橋上遺跡から出土した縄文時代の土器や石器、平安時代の須恵器なども展示しています。

所在地/十八才甲18-7  
開館問合せ/0237-62-3495  
(小倉交流館)  
見学料/無料  
小倉交流館の産直の営業時間(9時~17時)内は、自由にご見学いただけます。



交通手段	出発地	所要時間	備考
お車で	東京	20km 30分	浦和
	東北自動車道	310km 3時間35分	村田JCT
新幹線で	東京駅	2時間30分	山形新幹線
	東北新幹線	2時間	仙山線
飛行機で	東京	1時間	JAL
	大阪	1時間15分	JAL

交通手段	出発地	所要時間	備考
お車で	東京	20km 30分	浦和
	東北自動車道	260km 3時間	福島・飯坂
ETC車載器搭載車限定	東京	50km 35分	福島
	東北自動車道	260km 3時間	福島・飯坂

**お問い合わせ**  
大江町教育文化課歴史文化係(大江町中央公民館内)  
〒990-1163 山形県西村山郡大江町大字本郷丁373-1  
TEL/0237-62-3666 FAX/0237-62-3667  
E-mail/shakai\_k@town.oe.yamagata.jp

# 大江町文化財ガイドブック

町の歴史と文化、風土を語る文化財

大江町内には、歴史や文化、風土に根ざした文化財があります。中世、動乱期に機能した左沢橋山城跡、江戸初期の左沢藩主・酒井直次の墓などは、町の歴史を語りかけ、雷神社の御戸帳からは、山あいで営まれた生活がしのべられます。伏熊の阿弥陀如来坐像を拝すれば、古代の文化に思いをはせることができます。神代カヤや松保の大スギは、自然の大きさを見せてくれます。これらの文化財は、過去を語るだけでなく、未来にわたり町の文化を支える大切なものです。

## 大江町教育委員会

国史跡左沢橋山城跡と最上川

左沢橋山城跡から眺める最上川



# 大江町の文化財マップ


図中の①～⑨、①～⑪、a～fは、下の説明の番号と対応します。

**大江町ホームページ**

大江町の文化財についての情報はこちらのホームページをご覧ください。

<http://www.town.oe.yamagata.jp>

▲スマホはこちらから





## ② 左沢橋山城跡(国指定)

大江氏の一族左沢元時により、南北朝期の正平年間(1346~1370)に築城されたと伝えられています。最上川を直下に見下ろし、水陸交通の要衝を押さえる立地と考えられます。発掘調査では、建物の跡と15~17世紀の中国や朝鮮産陶磁器などが見つかりました。現在も、堀切など城の地形が残っています。「最上川ビューポイント」も史跡内にあります。



## ③ 阿弥陀如来坐像(県指定)

平安後期(12世紀)の作で、平安時代の坐像では県内最大のもので、頭や体の前面は作られた当初の形状をとめています。顔立ち、京都平等院鳳凰堂の阿弥陀如来像(定朝作)を思いおこさせます。また、一木造りで、地方仏師が定朝様式を模したと考えられています。西村山の宗教史・文化史を考える上で貴重な資料として指定されました。



## 町の歴史と文化を語るもの

- ① ヤマガタダイカイギウの化石発掘場所  
昭和53年、用橋の上流約100mの河床岩盤から化石が発掘されました。約800万年前、海に棲んでいた草食哺乳動物ヤマガタダイカイギウの化石です。
- ② 藤田の窯跡 / 平安時代の窯跡で、須恵器が見つかっています。
- ③ 小漆川城跡 / 江戸時代初めの城跡です。
- ④ 鶴ノ淵ポットホール  
ヤマガタダイカイギウの化石が見つかった場所
- ⑤ 橋上遺跡 / 縄文時代中期から後期の集落跡です。平安時代の建物跡も見つかっています。
- ⑥ 楢山不動の滝
- ⑦ 御館山(御館山城跡) / 大江氏滅亡の地で、高基公の墓があります。ここで高基が自刃したと伝えられています。
- ⑧ 中の畑神社 / 町指定文化財の御戸帳が奉納された神社です。七軒地区は江戸時代から明治時代は青葙の産地でした。
- ⑨ 黒森八幡宮奉納掛額
- ⑩ 小清
- ⑪ 十郎畑

## ④ 神代カヤ(県指定)

根周り9m、株立5本で9本の大幹を数えます。大幹は最大のもので幹周り3.5m。盃状に枝を張り、樹齢約1500年といわれます。高さは19mに及びます。



## ⑤ 松保の大スギ(県指定)

根周り15m。3mほど上部で多くの枝に分かれます。枝は四方に張り出し、垂れ下がっています。高さは26mに及びます。



## ⑥ 板碑 2基(町指定)

板碑とは梵字、年号、銘文を刻み、供養のために建てたものです。町指定の2基は凝灰岩で、鎌倉時代と室町時代に建立されました。当時の宗教文化を語る本町唯一の貴重なものです。

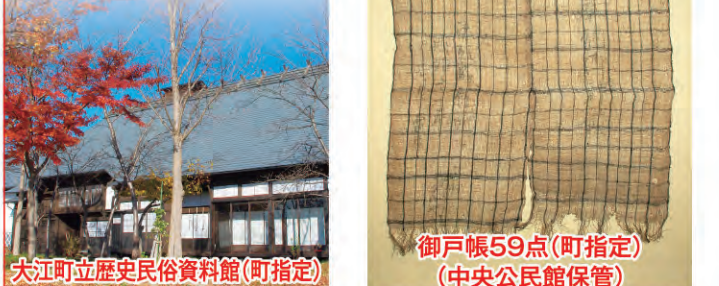


## 町の指定保存木一覧

- a トチ (1本) 左沢八幡神社境内
- b スギ (2本)・イチヨウ (2本) 橋上赤祇春日神社境内
- c スギ (5本) 沢口御嶽神社境内
- d ケヤキ (1本) 柳川青柳橋たもと
- e サクラ (シダレザクラ1本) 葛沢個人宅敷地内
- f サクラ (エドヒガン1本) 堂屋敷白山神社境内

## ⑧ 歴史民俗資料館

旧斎藤半助家住宅です。斎藤家は、周辺村落の地主として寛文年間(1600年代)から知られる旧家です。江戸時代には、小清村の名主を務め、青葙・漆口・養蚕などで栄えた商家でもありました。



御戸帳59点(町指定)(中央公民館保管)

## ⑨ 巨海院

左沢藩主の酒井直次により、小漆川に築かれた城の門と伝えられています。建築年代は元和8年(1622)から寛永の初め、巨海院への移転は慶安元年(1648)頃と推定されています。



巨海院山門(町指定)

## 町の郷土芸能(民俗芸能)

本町には、古くから様々な郷土芸能が受け継がれており、人々の生活に深く関わっています。その芸能を後世に伝えるため、次のような団体が、保存・普及に努めています。

- ◆左沢地区
    - 三区獅子舞会※
    - 七区囃子屋台※
    - 八区女相撲甚句保存会※
    - 御免町囃子座保存会※
    - 十三区奴保存会※
    - 小見田植踊保存会
    - 深沢獅子踊保存会※
  - ◆本郷・七軒地区
    - 楢山田植踊保存会
    - 道海田植踊保存会
    - 柳川大黒舞保存会
    - 御免町囃子座保存会
    - 楢山田植踊保存会
- ※の団体は毎年9月中旬に開催される「おおい秋まつり」に出演します。(十三区奴は3年に1回出演)

